



写真-3 実地研修（散布ノズルの違いと薬液吐出状況の違いの実演）

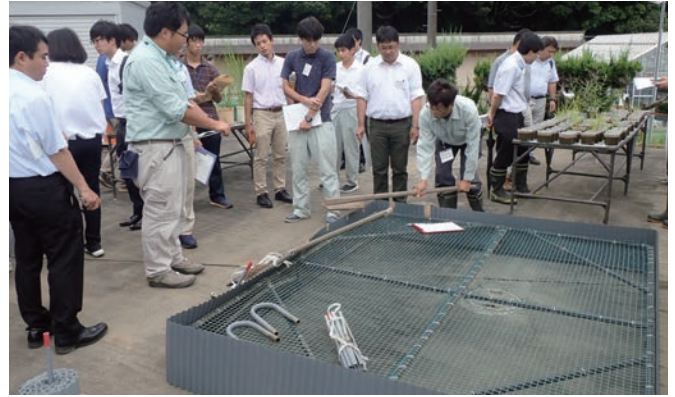


写真-4 実地研修（水稲用除草剤試験区設営用資材の展示）

の見学，水系生態影響評価施設の見学，圃場温室の見学，永年蓄積残留試験施設の見学，水動態試験施設の見学，抑草剤を活用した法面管理の実証圃の観察，散布ノズルの違いと薬液吐出状況の違いの実演，畑雑草の幼植物の見分け方と葉齢の数え方の習得，畑地用除草剤の薬害症状の観察，水田雑草の幼植物の見分け方と葉齢の数え方の習得，水稲用除草剤の薬害症状の観察，水稲用除草剤試験区の雑草の植え方の実演，水稲用除草剤試験区設営用資材の展示）と

前回よりも増えましたが，研究所職員によって効率的な誘導・説明が行われた結果，参加された方々の理解は十分に深まったものと思われま

す。なお，この研修会につきましては，今後も隔年で開催する予定です。都道府県で除草剤試験を担当されることになった方や農業会社で除草剤試験に携わることになった方などのご参加をお待ちしております。

統計データから

2018年の農林水産物・食品の輸出額（品目別）

2018年の農林水産物・食品の輸出総額は前年より12.4%増の9,068億円で，政府の2019年の1兆円突破目標に迫っている。2012年の輸出額4,497億円から倍増している。

そのうち，農産物は5,661億円で全体の62.4%を占め，林産物376億円（4.1%），水産物3,031億円（33.4%）となっている。しかし，農産物の内訳をみると，その54.8%に当たる3,101億円が，日本酒などアルコール飲料，ソース混合調味料，清涼

飲料水など「加工食品」が占めており，タバコや緑茶など「その他」の1,051億円を合わせると，この2分野で農産物輸出の約4分の3となっている。

輸出金額の多い品目の上位をみると，第1位は「アルコール飲料」の618億円で，「ホタテ」の476億円，「真珠」346億円，「ソース混合調味料」325億円，「清涼飲料水」281億円と続き，加工食品と水産物が上位を占める。（K.O）

2018年の農林水産物・食品 輸出額（品目別）（農林水産省 食料産業局）

品目	輸出額 (億円)	構成比 (%)	2018/2017 比(%)
農林水産物	9,068	100.0	12.4
農産物	5,661	62.4	14.0
畜産品 (食肉，酪農品，鶏卵，牛・豚等の皮)	659	7.3	5.4
穀物等 (小麦粉，米等)	426	4.7	16.0
野菜・果実等 (青果物，果汁，野菜・果実の缶詰等)	423	4.7	15.5
加工食品 (アルコール飲料，調味料，清涼飲料水，菓子等)	3,101	34.2	17.7
その他農産品 (たばこ，播種用の種，花き，茶等)	1,051	11.6	8.2
林産物 (丸太，製材，合板等)	376	4.1	6.0
水産物	3,031	33.4	10.2
水産物(調整品除く) (生鮮魚介類，真珠8天然・養殖)等)	2,267	25.0	10.5
水産調整品 (水産缶詰，練り製品等)	764	8.4	9.5